



平成30年度

業務実績に関する報告書【概要版】

✓ 業務の実施状況の内訳

業務の全体的な実施状況は、90項目の年度計画の項目のうち、年度計画を上回って実施している（A評価）が6項目（6.7%）、年度計画どおりに実施している（B評価）が84項目（93.3%）という結果であった。

全ての項目が、A評価及びB評価となっており、年度計画を十分に実施していると認められる。

◀評価概要▶

	項目数	A	B	C	D
➡教育研究等の質の向上に関する事項	51	3	48	0	0
➡業務運営の改善及び効率化に関する事項	9	2	7	0	0
➡財務内容の改善に関する事項	5	1	4	0	0
➡自己点検・評価及び情報公開に関する事項	3	0	3	0	0
➡その他業務運営に関する事項	22	0	22	0	0
合計	90	6	84	0	0

✓ 評価指標に係る平成30年度の主な状況

指標	法人化前	達成目標	H30実績
学部の入学定員充足率	100.0%	100%以上	114.2%
学部の学生の標準修業年限内卒業率	73.3%	80%以上	76.8%
学部の学生の就職率	91.9%	95%以上	98.3%
博士学位取得者数	1.7人	3.0人以上	4人
連携による公開講座の参加者数	535人	550人以上	273人
外部資金の金額	39,254千円	78,000千円以上	77,570千円
博士前期課程の入学定員充足率	78.1%	100%以上	95.8%
博士後期課程の入学定員充足率	25.0%	100%以上	125.0%

A評価及びB評価の数

100% (90項目)

◀評価基準の定義▶

評価A：年度計画を上回って実施している

評価B：年度計画を計画どおりに実施している。

評価C：年度計画をやや遅れて実施している。

評価D：年度計画を実施していない。

✓ 特筆すべき成果

平成30年度は、第1期中期目標期間の最終年度であり、中期目標達成のため、法人全体で教育、研究及び地域貢献に関する各取組みを遂行した。



入試広報強化のためPDCAを実施 (No. 2)

・過去の傾向からオープンキャンパスの開催日や実施内容の見直しを行い、参加者増につなげた。



業界・業種説明会の見直し (No. 15)

・学生の業界・業種に対する視野を広げるため、複数の業界・業種によるパネルディスカッションや個別テーブルでの説明会を開催した。



海外語学研修支援の見直し (No. 48)

・様々な海外語学研修に参加することができるよう支援事業の見直しを行い、学生への支援を行った。



電子申請を導入し業務を効率化 (No. 53)

・申請書の提出としていた施設利用申請を電子申請に移行し、業務の効率化を図った。



委員会の合同開催 (No. 55)

・所掌事項や構成員の類似する委員会を合同開催にし、業務組織の効率化、意思決定過程の明確化を図った。



事務局内組織の機構改革 (No. 62)

・多様化するニーズへの対応、偏重する業務の平準化等を目的として事務局組織の機構改革を実施した。